

令和7年 第1回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会

第1回定例会が開催されるに当たりまして、令和6年第4回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

教職員ウインター
セミナーについて

はじめに、教職員ウインターセミナーについて申し上げます。

教職員の資質向上を図るため、冬季休業期間中の1月9日と10日の2日間、恵庭市民会館及び恵庭小学校体育館にて、教職員ウインターセミナーを開催いたしました。

今回のセミナーにつきましては、「救急救命講習」、「資質・能力の育成に向けた授業づくり」、「1人1台端末を活用した授業改善」、「働き方改革」の4つの講座を開設し、市内小中学校の教職員延べ134名が参加したところであります。

小中一貫教育の検
討について

次に、小中一貫教育の検討について申し上げます。

義務教育の9年間を見通したより効果的な教育を推進していく観点から、小中一貫教育の導入に関して、本市の今後の在り方について検討するため、「恵庭市小中一貫教育検討会議」を設置し、第1回検討会議を1月31日に開催したところであります。

小中連携教育の推
進について

次に、小中連携教育の推進について申し上げます。

子どもの学びの継続と、小中学校が相互に情報を共有して、より良い指導を目指すため、小中連携教育推進委員会の合同会議を、恵庭市民会館にて2月17日に開催いたしました。

市内全小中学校の担当者が参加し、「学校力向上に関する総合実践事業」の実践発表のほか、中学校区ごとに本年度の取組みを整理し、次年度に向けて情報の共有を図ったところであります。

学力・体力向上推進 会議について	次に、学力・体力向上推進会議について申し上げます。 本年度第3回目の会議を恵庭市民会館にて2月6日に開催し、児童生徒の学力及び体力の向上に関し、様々なご意見をいただいたところであります。
学校給食にかかる 施設設備の更新等 について	次に、学校給食にかかる施設設備の更新等について申し上げます。 小学校給食センターの配送用コンテナの更新及び中学校給食センターの油ろ過機の更新を10月に、蒸気ボイラー劣化部品の交換更新を1月に無事完了いたしました。 今後につきましても、「安全・安心」で児童生徒に喜ばれる学校給食の提供に努めて参ります。
食育の推進につい て	次に、食育の推進について申し上げます。 学校給食による食育の推進につきまして、12月21日に北海道文教大学と恵庭市学校給食協会との共催により、「食育教室2024」を小学1年生から3年生の児童と保護者による参加者24名のもと文教大学にて開催し、料理を作る楽しさや食育の大切さを体験していただきました。
学校教育施設の整 備について	次に、学校教育施設の整備について申し上げます。 建物の長寿命化を図るための予防的改修として、恵み野中学校講堂の外壁改修工事を完了したところであります。 また、恵明中学校の校舎・講堂トイレを改修し、洋式化を行っております。 今後も引き続き、安全安心な学校環境の整備に努めて参ります。
地区会館等の整備 について	次に、地区会館等の整備について申し上げます。 有明会館のアスベスト含有煙突用断熱材の除去工事を含めた暖房機

	更新工事を行い、完了しているところであります。 また、和光会館のホール天井の改修工事が完了したところであります。 さらに、市民会館の耐震化等改修工事について、大ホール部分より着手しております。
子どもの体験活動について	次に、子どもの体験活動について申し上げます。 子どもの様々な体験を通して、豊かな情操を養うことを目的に、12月7日に「親子で楽しいクリスマスケーキづくり講座」を、12月21日に、「みんなで楽しむクリスマスピアノコンサート」を、1月8日に「みんなで楽しむスポーツ講座」を、1月10日に「子ども塾・ロボット操作体験教室」を、それぞれ島松公民館にて実施し、合わせて149名の市民に参加いただきました。
はたちのつどいについて	次に、はたちのつどいについて申し上げます。 二十歳を迎えた若者を、名実ともに社会人として生活していくことを社会全体で祝福し、大人として成長していくことを激励する「はたちのつどい」を市民会館にて1月12日に開催し、477名に参加いただきました。
地学協働活動の推進について	次に、地学協働活動の推進について申し上げます。 地域全体で子どもの学びや成長を支え、コミュニティ・スクール活動の推進を図るため、「コミスクかふえ」事業を11月28日と1月28日に実施し、延べ74名の方に参加いただきました。 また、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰に、恵み野小学校区コミュニティスクール推進協議会と恵み野小学校の受賞が決定し、2月28日に文部科学省にて表彰式が開催される予定であります。

文化芸術活動の推進について	次に、文化芸術活動の推進について申し上げます。 市民との協働による文化芸術活動を推進するため、市内で文化芸術活動をしている方や関心のある方などをお招きし、恵庭市文化を語る会を12月12日に夢創館で、2月3日に北海道文教大学で開催しました。 延べ15名の方々に参加いただき、恵庭市の文化芸術の未来や課題などについて意見交換を行いました。
読書活動の推進について	次に、読書活動の推進について申し上げます。 図書館全館では、冬のスペシャルおはなし会や、かるたやすごろくなどを楽しむ行事「お正月を遊ぼう！」に多くの子どもたちが参加し、この季節らしい体験をしてもらいました。また、書名を隠した本の包みを借りてもらう年末年始恒例企画『本の福包（ふくづつみ）』は、大盛況のうちに終了し、多くの貸出があったところです。 研修事業といたしましては、第2回学校司書研修会を2月18日に開催いたしました。「調べ学習の基本」を改めて確認し、授業での教師との連携やサポートについて理解を深める機会といたしました。
郷土資料館事業について	次に、郷土資料館事業について申し上げます。 郷土資料館では、1月4日から2月2日まで、くらしの様々な場面で活躍した昭和の道具を展示した「道具のうつりかわり展」を開催し、多くの方々に御覧いただきました。 また、明治時代からのひな人形を展示する「ひな人形展」を2月8日から3月9日まで開催しており、好評をいただいているところであります。
埋蔵文化財関連事業について	次に、埋蔵文化財関連事業について申し上げます。 昨年8月27日に国の重要文化財に指定された「西島松5遺跡出土品」

アイヌ文化関連事業について

についてですが、郷土資料館において10月19日から12月15日まで新指定記念出土品展を開催し、多くの方々に出土品の実物をご覧いただきました。

最後に、アイヌ文化関連事業について申し上げます。

恵庭市内の小中学生6名の参加によるアイヌ文化マスター育成事業の全8回のうち、第6回として12月8日に「ウポポイでアイヌ文化を学ぼう！」の見学会を、第7回として1月19日に「厚真町のアイヌ民族の歴史」について見学会を、第8回として2月2日に専門家の講師をお招きして「アイヌ民族について」講座を実施し、今年度の育成事業を完了したところであります。

以上、令和6年第4回定例会以降における教育行政報告の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため、一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。